



子育てチャンネル

「足りないことの幸せ」があったあの頃

小学生のころ人形遊びが大好きで、雑誌やおもちゃ屋さんで並ぶ着せ替え服が欲しくてたまりませんでした。でもおこづかいで買える余裕はありません。仕方なく、図書館で作り方の本を借り、家にある母の端切れ生地とミシンを使い自分で作るしかありませんでした。

友達が持っているリカちゃんハウスにあこがれつつも、これまた買えないので、牛乳パックにかわいい花柄生地を貼ってソファを作ってみたところ、まるでヨーロッパのインテリアのようになり、自分好みの小さな理想の世界を作り上げては飾って眺め、うっとりしていたことを覚えていません。欲しくてもお金が足りないから自分で作るしかなかったのですが、その結果

が今の職業につながっているから不思議なものです。足りないというのは悪いことではありませんね。今はさまざまな物があふれ、安価に手に入れることが出来、作るよりも買う方が簡単な時代になりました。お店に並ぶ製品もすべて人

が作ったものに過ぎないので、「自分でも作れるよ」と言つと、驚いて「無理!」と言つ子供も大人も増えませんでした。出来上がった時の達成感と、「次はあれを作ろう」「こんなものが欲しいなあ」を自分で実現できる万能感

は、実は人間にとって大切な本能のひとつなのではないかと思えます。たくさん作っていくうちに、難しかったこともだんだん楽にきれいにできるようになり、最初の作品の出来のひどさを見ると、今の自分の成長を感じうれしくなることもあるでしょう。

皆さんは最近、なにか作りましたか? 小さなお子さんでも一緒にできる簡単なポケットティッシュ袋の作り方レシピをご紹介します。簡単な縫いで充分。たとえ目が大きくて不ぞろいでも、何度か往復すれば丈夫になります。今年のクリスマスプレゼントとして、暖かい家の中でお子さんに手仕事の楽しみと小さな達成感をぜひ伝えてあげてください。

手芸工房ウエカラパ

春日春絵

ティッシュケースの作り方

